

Lアラート 警戒レベルと地図化対応について

一般財団法人 マルチメディア振興センター
Foundation for MultiMedia Communications

2019年10月24日

目次

1 背景	P.2
2 「避難勧告等に関するガイドライン」の改定に伴う対応	P.3
3 「Lアラート情報の地図化」に伴う対応	P.4
4 XML下位バージョン及び他フォーマットへの変換	P.7
5 今後のスケジュールについて	P.9

■ 2019年3月29日改定「避難勧告等に関するガイドライン」に伴う対応

- 警戒レベルの導入

「防災情報を5段階の警戒レベルにより提供することなどを通じて、受け手側が情報の意味を直感的に理解しやすいものとし、住民の主体的な行動を支援」することを目的に導入。

- 警戒レベル5に対応した「避難指示(緊急)」より上位の発令の導入

「警戒レベル4に避難勧告、避難指示(緊急)、警戒レベル5に災害発生情報を位置付け、避難のタイミングを明確化」することを目的に導入。

■ 「Lアラート情報の地図化」に伴う対応

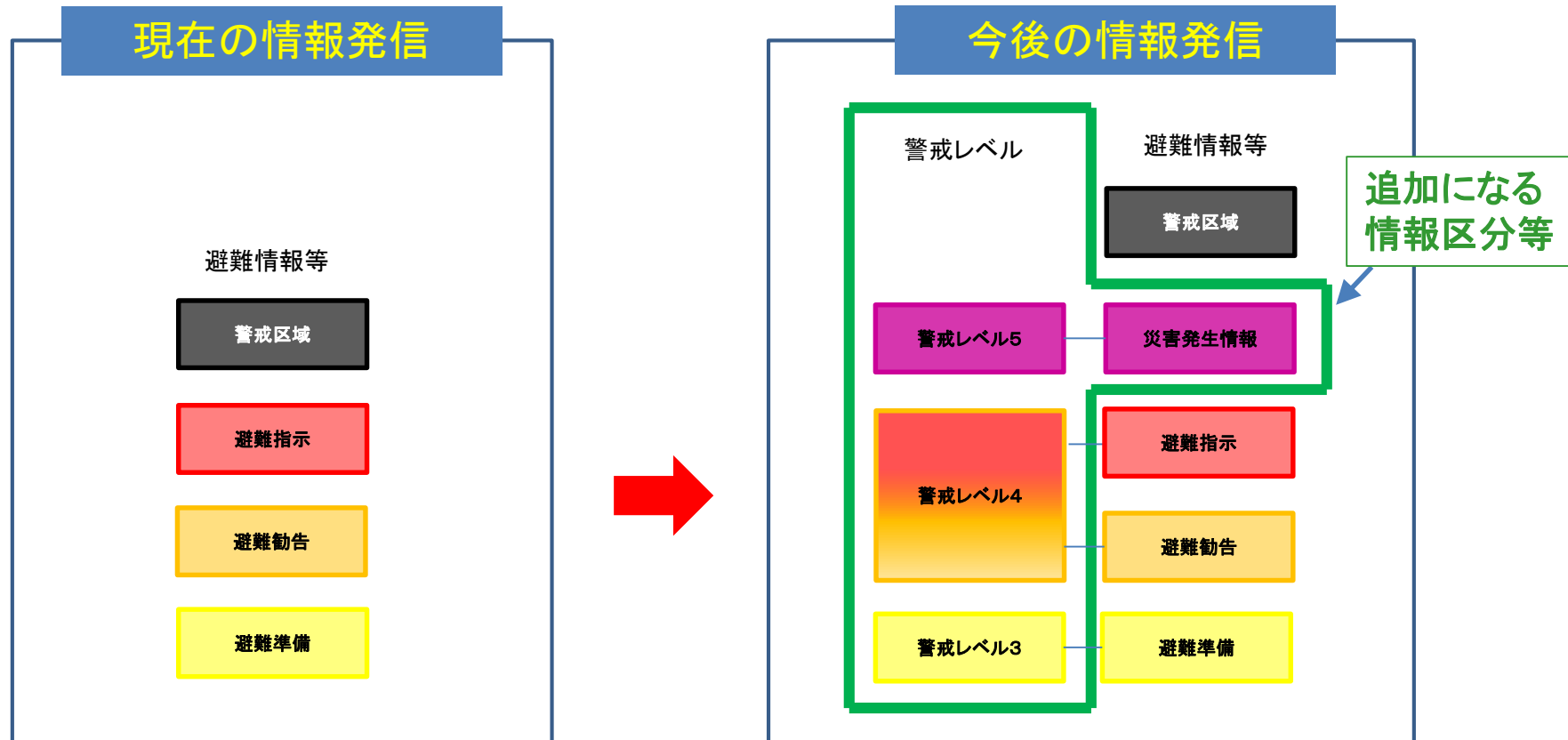
総務省が2016年度より取り組んでいる「Lアラート情報の地図化システムの標準仕様策定」につき、2018年度で標準仕様(案)が示された。

今後、都道府県の防災情報システムに「Lアラート情報の地図化システムの標準仕様(案)」に基づいた実装を行う事が予想されることから、Lアラートにおいても、同仕様に基づいたXML仕様を実装することとした。

2 「避難勧告等に関するガイドライン」の改定に伴う対応

■ 2019年3月29日改定「避難勧告等に関するガイドライン」に伴う対応

- ・ 「警戒レベル」
新しい情報として、新規に要素を追加する。
- ・ 「避難指示(緊急)の上位の発令」
避難情報等の取り得る値に「災害発生情報」を加える。



3 「Lアラート情報の地図化」に伴う対応

■ 「Lアラート情報の地図化」に伴う対応

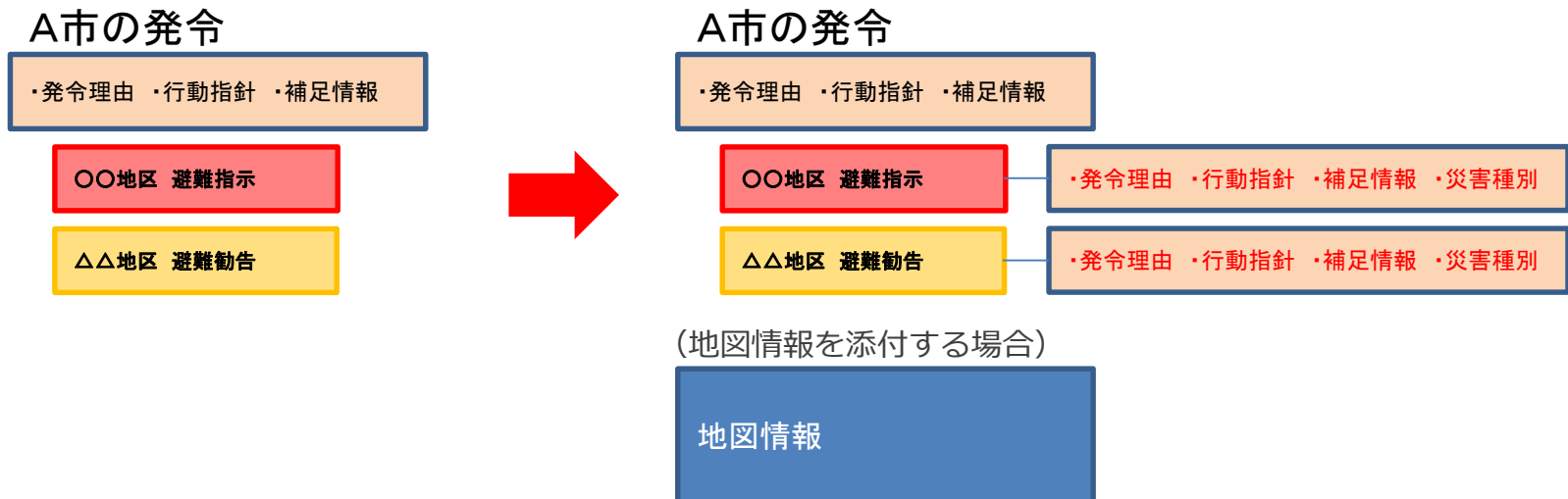
➤ 地図情報を添付するための要素を追加

※地図情報を添付しない場合には当該要素は省略される。

➤ 地図化に伴う表現力強化のための要素を追加

- ・「災害種別」設定用に要素を追加（発令地区別）
- ・発令理由、避難行動指針、補足情報を発令地区毎に設定する要素を追加（現バージョンは、市町村単位での設定。）

※設定は任意だが、地図情報を添付する場合は設定することを推奨。



<参考> 2つの案件を合わせた発信イメージ

現在の情報発信

A市の発令

・発令理由 ・行動指針 ・補足情報

〇〇地区 避難指示

△△地区 避難勧告



今後の情報発信

(地図情報を添付する場合)

A市の発令

・発令理由 ・行動指針 ・補足情報

〇〇地区
警戒レベル4 避難指示

・発令理由 ・行動指針 ・補足情報 ・災害種別

△△地区
警戒レベル4 避難勧告

・発令理由 ・行動指針 ・補足情報 ・災害種別

地図情報

(地図情報を添付しない場合)

A市の発令

・発令理由 ・行動指針 ・補足情報

〇〇地区
警戒レベル4 避難指示

・発令理由 ・行動指針 ・補足情報 ・災害種別

△△地区
警戒レベル4 避難勧告

・発令理由 ・行動指針 ・補足情報 ・災害種別

4 XML下位バージョン及び他フォーマットへの変換

■ XML下位バージョンへの変換

従来、XMLのバージョンアップにおいては、下位バージョンへの変換を行ってきたが、以下の考えにより、下位バージョンへの変換は行わない方針とする。

ただし、情報受信システムの移行期間を考慮し、リリース後、当面の間は下位バージョンへの配信を行う事とする。

- 2019年3月29日改定「避難勧告等に関するガイドライン」に伴う対応
「警戒レベル」については、住民への伝達情報に加える事が必須と位置付けられており、下位バージョンのXML要素には該当する要素が無く、他要素の変換を行っても、住民への伝達情報に加える事が必須となっている「警戒レベル」が失われてしまう事になる。
また、現行及び古いバージョンで受信している情報伝達者に、住民の安心安全に必要な情報を追加した最新のXMLバージョンでの受信に移行させる事にも繋がる。
- 「Lアラート情報の地図化」に伴う対応
「地図情報添付サポートのための要素」「地図化に伴う表現力強化のための要素」については、下位バージョンのXML要素には該当する要素が無く、変換を行っても、地図情報を活用した情報伝達に繋がらないと思われる。
また、地図情報を活用した情報伝達に繋げるためにも、最新のXMLバージョンでの受信に移行させる必要があると思われる。

■ 他フォーマット(TVCML、HTML)への変換

今回のXML仕様改定で「追加要素等」を変換する為の項目が無いこと、2021年9月30日でサポート停止となることから、追加要素等の変換は行わない方針とする。

(当該フォーマット利用者は順次XMLに切り替え中)

4 XML下位バージョン及び他フォーマットへの変換

【XML変換対応表】

発信XMLバージョン	配信フォーマット	FLG	補足説明
Ver2.0 (警戒レベル有) (地図情報有)	XML	Ver2.0	○
		Ver1.5以前	△ 変換可能な要素のみ配信 ※1
	TVCML		△ 変換可能な要素のみ配信
	HTML		△ 変換可能な要素のみ配信
Ver2.0 (警戒レベル有) (地図情報無)	XML	Ver2.0	○
		Ver1.5以前	△ 変換可能な要素のみ配信 ※1
	TVCML		△ 変換可能な要素のみ配信
	HTML		△ 変換可能な要素のみ配信
Ver1.5以前	XML	Ver2.0	○ Ver2.0の要素無しで配信Ver1.5以前で配信する場合と同じ
		Ver1.5以前	○ 現在と同様に配信
	TVCML		○ 現在と同様に配信
	HTML		○ 現在と同様に配信

FLG: 発信されたXML各要素が変換により失われるか否かで記入。

※1: 情報受信システムの移行期間を考慮し、当面の間は下位バージョンへの配信を行う。

5 今後のスケジュールについて

2019年6月27日	Lアラート運営諮問委員会で対応案及びスケジュール説明
2019年7月11日	Lアラート運営諮問委員会作業部会で説明
2019年7月24日	今後の対応スケジュールを利用者に通知
2019年10月10日	仕様公開
2019年10月24日	技術セミナー開催
2019年12月中旬	テストノードリリース (適合検査の受付開始)
2020年4月初旬	本番ノードリリース ※緊急速報メール発信支援機能の楽天モバイル対応版 もリリース予定。



一般財団法人

マルチメディア振興センター

Foundation for MultiMedia Communications